

銀行カードローンのフォローアップ調査結果について

- 銀行カードローンについては、昨年3月に行った実態調査以降における各行の業務運営の見直し状況について、フォローアップ調査を実施し、その結果を9月18日に公表した。
- フォローアップ調査の結果、前回調査以降も、全体として融資審査態勢の見直し等の改善に向けた取組みが進んでおり、業界全体の業務運営水準が高まっている状況が認められた。他方、個別に見ると、取組みが十分に進んでいない銀行や項目も見られた。
- 具体的には、融資上限枠を設定していない銀行や、設定していても全銀協の申し合わせを踏まえた形で他行等からの借入額を勘案していない銀行等が認められ、これらの銀行については、上限枠の設定や見直しを検討中と回答頂いており、速やかに対応を進めて頂きたい。
- また、融資実行後の途上管理について、年収証明書の再取得等に向けた積極的な取組みを行う銀行が増えてきているが、多くは、顧客から極度額の増枠申込みを受け付けた場合など、顧客からの申し出によるものであり、銀行の側から能動的に顧客の返済能力の変化やその予兆を把握しようとする動きは鈍い。
- 以上の点を含め、各行におかれては、今般の調査結果も踏まえて、自行の業務運営について改善の余地がないか改めて確認して頂き、迅速に対応を進めて頂きたい。

(以 上)